

第91期 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

BSN



BSNテレビ「そらなび」丸山大橋（新潟県関川村）ドローン映像

株式会社新潟放送

証券コード：9408

株主の皆様へ



代表取締役社長
佐藤 隆夫

株主の皆様には平素より当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

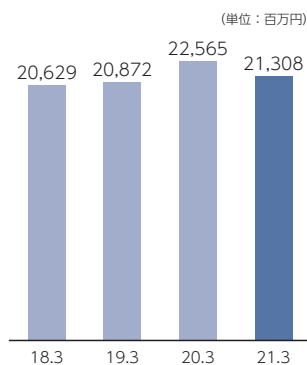
ここに当社第91期事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧を賜りますようお願い申し上げます。

期末配当につきましては、1株につき3円75銭の普通配当とさせて頂き、これにより、当期の配当金は中間配当と合わせて1株につき7円50銭となります。当社は安定配当を配当方針としております。

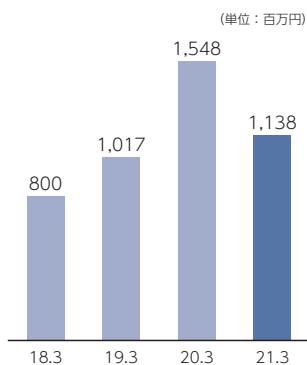
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト（新潟放送、BSNウェブ、BSNアイネット、ビーアイテック、ITスクエア）

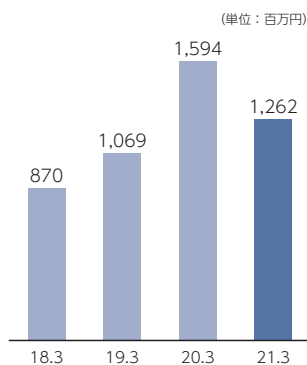
売上高 21,308百万円
(前期比 5.6%減)



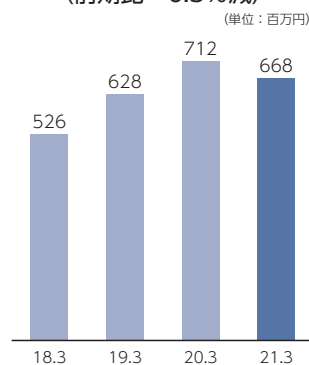
営業利益 1,138百万円
(前期比 26.4%減)



経常利益 1,262百万円
(前期比 20.8%減)



親会社株主に帰属する
当期純利益 668百万円
(前期比 6.3%減)



業績のポイント

当期におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が停滞し、当社グループ業績にも大きな影響が出ました。売上高は、213億8百万円（前期比5.6%減）となりました。また徹底したコスト削減を図り利益の確保に努めましたが、営業利益は11億3千8百万円（前期比26.4%減）、経常利益は12億6千2百万円（前期比20.8%減）親会社株主に帰属する当期純利益は6億6千8百万円（前期比6.3%減）と減収減益となりました。

新潟放送・事業概況

ラジオ部門

当期ラジオ収入は、前期比6.0%減の6億6千万円となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベント関連の実施が難しかったことが主な要因です。

番組では、他局の閉局に伴い、人気パーソナリティの移行を進め、8月に番組改編を実施しました。新潟ラジオ界の朝の顔だった遠藤麻理さんを起用した新番組「四畳半スタジオ」は、リスナー離れが深刻だった午後帯に新風を吹き込みました。番組は開始直後から話題となりradiko（ラジオ放送をパソコンやスマートフォンで聴けるサービス）のデータでは、BSNラジオ史上初の1日1万回接続を記録しました。今年2月には、新潟日報メディアシップを会場に初の公開放送を実施し、定員80人のところ、3,000人が応募する人気ぶりでした。また、高田FM（94.8MHz）を開局し、上越地方の皆様に、よりクリアな音質で放送をお届けできるようになりました。

テレビ部門

当期におけるテレビ収入は、前期比9.5%減の44億7千9百万円となりました。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響でスポンサーの出稿が鈍り、収益の柱となるスポット収入が大きく伸び悩んだことが主な要因です。

番組制作については、10年目を迎えたゴールデンタイムのレギュラー番組「水曜見ナイト」（水曜午後7時～8時）では、人々との温かいふれあいを描くシリーズ「県境から行ってみずほ」を放送しました。三条市下田で棚田を守る農家に半年間密着して、田植えから収穫、米の販売イベントまでを適宜紹介し、今年1月には総集編を放送しました。番組の年間平均視聴率（世帯）は10%を超え、東京キー局の番組と比べても遜色ない実績を上げました。

このほか、2020年に制作したBSNスペシャル「芸術の価値 舞踊家 金森穰16年の闘い」が令和2年度文化芸術祭賞のテレビ・ドキュメンタリー部門で「大賞」、第45回JNN協議会 地域・環境部門で「協議会賞」を受賞、第57回ギャラクシー賞のテレビ部門で「選奨」に輝きました。報道部門では、平日夕方のレギュラー番組「BSN NEWS ゆうなび」（月一金 午後6時15分～）の放送を軸に情報発信の多様化をいっそう進めました。日常的な取材活動では、自治体や企業などの発表に頼らず、独自の調査で事実を集めて報道するよう努めました。今期は「ゆうなび」内に新コーナー「ど～いん新潟」を立ち上げ、視聴者から寄せられた疑問等を解決する特集を定期的に放送しました。

その他の部門

当期におけるその他の部門の収入は、前期比24.5%減の5億3千2百万円となりました。当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、安全性と収益を精査した結果、プロ野球公式戦の他、コンサートやお笑いライブ、落語など、ホールで実施する事業は、予定していた21のうち15事業が中止となりました。

そのような状況下で上期に新潟市マンガ・アニメ情報館で開催しました「まんがタイムきらら展」は1万1,000人が来場。一定層に根強い人気があるコンテンツのためグッズの売り上げも好調でした。下期に入りまして、新潟市新津美術館で開催しました「特別展ミイラ」は、感染予防対策のため入場を制限しながらではありますが5万9,000人と多くの方にご来場いただきました。

また、デジタル分野としてスマートフォン向けアプリ「BSNアプリ」が2021年3月、6万ダウンロードを達成しました。その他、デジタルニーズへの対応として、「Yahoo! ニュース」等ポータルサイトへの情報提供を充実させた結果、自社サイトのアクセス数は前年比3倍の伸びとなりました。



ラジオ新番組「四畳半スタジオ」



高田FM局 開局



水曜見ナイト



BSNスペシャル「芸術の価値」



まんがタイムきらら展



特別展ミイラ

財務概要

■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当期末	前期末
	2021年3月31日	2020年3月31日
(資産の部)		
流動資産	12,606,129	11,944,617
固定資産	12,651,667	12,150,170
有形固定資産	6,507,019	6,553,194
無形固定資産	441,164	363,344
投資その他の資産	5,703,483	5,233,632
資産合計	25,257,797	24,094,788
(負債の部)		
流動負債	4,635,407	4,603,435
固定負債	1,112,221	1,318,672
負債合計	5,747,628	5,922,108
(純資産の部)		
株主資本	16,721,825	16,098,515
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	16,416,879	15,793,569
自己株式	△805	△805
その他の包括利益累計額	539,836	20,864
非支配株主持分	2,248,507	2,053,299
純資産合計	19,510,169	18,172,680
負債・純資産合計	25,257,797	24,094,788

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,248	2,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△578	△813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644	△838
現金及び現金同等物の増加額	24	664
現金及び現金同等物の期首残高	6,617	5,952
現金及び現金同等物の期末残高	6,641	6,617

■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当期	前期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	21,308,676	22,565,503
売上原価	15,790,140	16,412,610
売上総利益	5,518,535	6,152,892
販売費及び一般管理費	4,379,770	4,604,717
営業利益	1,138,764	1,548,175
営業外収益	172,059	91,980
営業外費用	48,424	45,570
経常利益	1,262,399	1,594,585
特別利益	149,397	75,827
特別損失	84,837	335,273
税金等調整前当期純利益	1,326,958	1,335,139
法人税、住民税及び事業税	204,482	375,196
法人税等調整額	249,780	73,896
当期純利益	872,695	886,046
非支配株主に帰属する当期純利益	204,393	173,071
親会社株主に帰属する当期純利益	668,301	712,974

■ 新潟放送ハイライト ■

(単位：百万円)

科 目	当期末	前期末
	2021年3月31日	2020年3月31日
総資産	13,600	12,794
純資産	12,273	11,660

科 目	当期	前期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	5,672	6,359
営業利益	232	493
経常利益	353	570
当期純利益	263	406

トピックス

佐渡金山MR『ISLAND MIRRORGE』始動

2021年春「史跡 佐渡金山」（新潟県佐渡市）に幻想世界が出現しました。『ISLAND MIRRORGE（アイランド・ミラーージュ）』は、坑道「道遊坑コース」を舞台とした最先端アトラクションです。メガネ型端末「MRグラス」をかけるとそこはまるで異世界…坑道内を妖精が飛び、鉱物を狙う怪物たちが体験者をファンタジーの世界へと誘います。

MR技術を使った空間移動を伴うアトラクションを歴史遺産に導入するのは世界初で、映像はMRグラスを通して見ることができ、史跡や自然を傷つけることなく新たな誘客や魅力の発信に結びつけることができます。新潟放送では、このノウハウを活かし、全国の遺産や史跡、観光地での展開を考えています。「地域の宝をデジタルでみがく」ことが、人々の心に光を灯すエンターテインメントの創造につながると信じています。



